

異色の経歴を経て ミュンヘン音楽大学ピアノ科教授に日本人で初めて、
しかも弱冠32歳で抜擢された注目の名手と欧米での多彩な活躍を経て、
東京藝術大学の要職に抜擢された日本を代表する国際的ヴァイオリニストの一人、
漆原朝子との鮮烈な出会いが充実のプログラムで実現。

漆原朝子 (ヴァイオリン) & 今峰由香 (ピアノ)

デュオ・リサイタル

Asako Urushihara, Violin & Yuka Imamine, Piano Duo Recital



©Naoya Yamaguchi, Studio/Diva



サンプルプログラム

- 【Program A】◆ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ 遺作 (1897) ◆ドヴォルザーク：4つのロマンティックな小品 op.75 (1887)
◆ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ (1917) ◆ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 op.108 (1888)
◆ヤナーチェク：ヴァイオリン・ソナタ (1922)
- 【Program B】◆ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ 遺作 (1897) ◆ショパン：ノクターン ロ長調 op. 62 Nr.1 (ピアノソロ)
◆ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ (1917) ◆ショパン：幻想ポロネーズ op.61 (ピアノソロ)
◆ヤナーチェク：ヴァイオリン・ソナタ (1922) ◆ショパン＝イザイ：バラード 第1番 ト短調 op.23
- 【Program C】◆モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K.526 ◆シューマン：3つのロマンス op.94
◆ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第4番 イ短調 op.23 ◆ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 op.108
◆ウェーベルン：ヴァイオリンとピアノのための4つの小品 op.7

2016年ツアー公演記録

内省的でありながら耀きに満ちた漆原朝子のヴァイオリンと、ダイナミックだが常に優しさを内包する今峰由香のピアノがある時は融和し、ある時は対峙する——このデュオが提示したのは音楽の楽しみと深遠を身近に感じる世界だった。—〈略〉—

'17. 2/1 関西音楽新聞〈音楽評〉嶋田邦雄

12/18 (日) 群馬・高崎シューベルトサロン 12/22 (木) 名古屋・宗次ホール
12/20 (火) 和歌山・紀南文化会館小ホール 12/23 (金・祝) 京都府立府民ホール アルティ

漆原 朝子 (ヴァイオリン) Asako Urushihara, Violin

東京藝大付属高校在学中に日本国際音楽コンクールで最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。88年N響定期公演デビュー、ニューヨークでもリサイタル・デビューでも絶賛を博す。マールボロ音楽祭でルドルフ・ゼルキン等と共演、ザルツブルク音楽祭などにも登場。ペリー・スナイダーとのデュオではシューベルト、シューマン、ブラームスのヴァイオリン作品全曲演奏及びCDなどをリリース。

2010年には生誕200周年記念シューマン・プログラムなどテーマ性をもったリサイタルツアーを度々行っている。
姉 漆原啓子との共演で、平成26年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。
現在、現在、東京藝術大学教授 大阪音楽大学特任教授。

今峰由香 (ピアノ) Yuka Imamine, Piano

関西学院大学文学部卒業後、ミュンヘン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。同大学院マイスタークラスやローマ・サンタ・チェチーリア音楽院で更に研鑽を積む。
93年シューベルト国際コンクールで優勝、96年アレクサンドロ・カサグランデ国際コンクールで第1位、97年ゲザ・アンダ国際コンクール第3位入賞。
チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ヤナーチェク・フィル、ミュンヘン

交響楽団、南西ドイツ・フィル等と共演。ヨーロッパを中心に活発な演奏活動を展開している。
2016年には日本のLIVE NOTESレーベルより『今峰由香ブレイズ ベートーヴェン』をリリース。レコード芸術特選盤に選ばれるなど新聞・音楽誌上で絶賛を博している。
2002年、弱冠32歳の若さで、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科教授に就任。

お問い合わせ／コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL ▶ <http://www.kojimacm.com> E-mail ▶ kojimacm@ops.dti.ne.jp